

米国地方債ファンド2016-07 (為替ヘッジあり) (愛称：ドリームカントリー)

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「米国地方債ファンド2016-07 (為替ヘッジあり)」は、2019年2月19日に第5期の決算を行いました。

当ファンドは、米国の地方債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年8月21日～2019年2月19日

第5期	決算日：2019年2月19日	
第5期末 (2019年2月19日)	基準価額	9,767円
	純資産総額	2,334百万円
第5期	騰落率	0.3%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

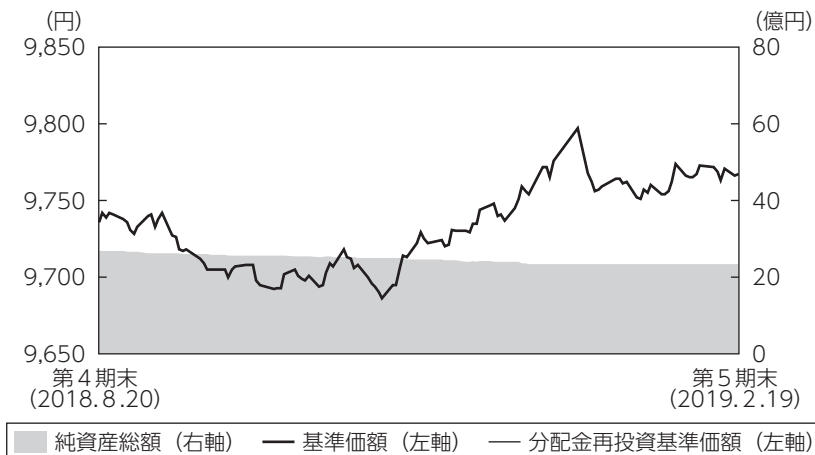
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第5期首： 9,736円
 第5期末： 9,767円
 (既払分配金0円)
 騰落率： 0.3%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注3) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

米国地方債に投資を行い米ドル売り／円買いの為替取引を行った結果、債券投資による利息収入や米国地方債市場が上昇したことから基準価額は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

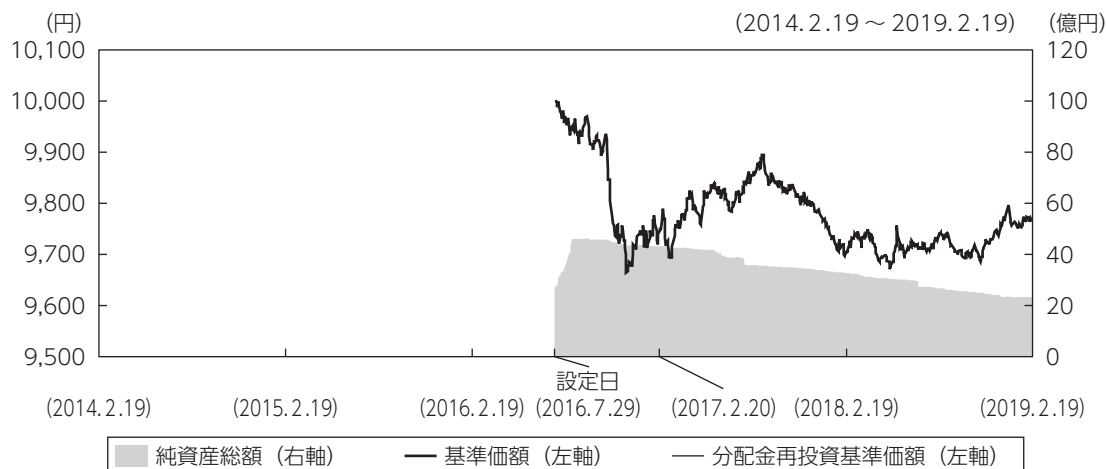
項目	第5期		項目の概要
	(2018年8月21日 ～2019年2月19日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	25円	0.260%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,736円です。
(投信会社)	(18)	(0.190)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(6)	(0.057)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(c) 有価証券取引税	－	－	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	1	0.009	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.007)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用
合計	26	0.269	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注2) 分配金再投資基準価額は、設定日の基準価額に合わせて指数化しています。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示してあります。

		2016年7月29日 設定日	2017年2月20日 決算日	2018年2月19日 決算日	2019年2月19日 決算日
基準価額（分配落）	（円）	10,000	9,747	9,704	9,767
期間分配金合計（税引前）	（円）	—	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率	（％）	—	△2.5	△0.4	0.6
純資産総額	（百万円）	2,723	4,322	3,276	2,334

(注) 当ファンドは、主として米国の地方債への投資を基本としていますが、適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

投資環境

●海外債券市況

中短期の米国地方債市場は上昇（利回りは低下）しました。

期首から11月上旬にかけては、比較的良好な米経済指標などを受けて市場は下落しました。しかしその後は、中国通信機器大手の幹部逮捕を受け米中貿易摩擦に対する警戒感が高まったことや、世界的な景気減速懸念、欧州の政治的な不透明感の高まりを背景に上昇基調で推移しました。また、地方債発行体による借り換え需要の低下などから、新規発行が昨年比で総じて減少したことも上昇要因となりました。

ポートフォリオについて

格付けが高く利回り水準が魅力的な銘柄を慎重に選別し、ポートフォリオを運用しました。格付け別配分は、前期に引き続きA A格やA格を高めに取り入れました。種別配分は、一般財源保証債約25%、特定財源債等約75%としました。

債券の組入比率は高位を維持しました。

また、保有資産に対して米ドル売り／円買いの為替取引を行いました。

上記の通り運用を行った結果、基準価額は上昇しました。主な変動要因は以下の通りです。

(上昇要因)

- ・債券投資による利息収入
- ・債券価格の上昇

(下落要因)

- ・為替ヘッジコスト

【種別等構成比率】

期末		
種別等		比率
一般財源保証債	課税債	23.3%
	非課税債	0.0%
特定財源債等	課税債	74.9%
	非課税債	0.0%
その他債券		0.0%

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) その他債券には、米回国債等を含みます。

【格付け別組入比率】

期末	
格付け	比率
A A A	3.2%
A A	32.7%
A	40.2%
B B B	22.1%
B B以下	0.0%
無格付け	0.0%
加重平均格付け	A+

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 格付けはS & P、Moody'sのうち、高い方の格付けを採用しています。(表記方法はS & Pに準拠)

(注3) 加重平均格付けは保有する債券の格付けを、債券ポートフォリオに対する各銘柄の組入比率で加重平均したものです。当ファンドの信用格付けを表示しているものではありません。

ベンチマークとの差異について

当ファンドはベンチマークや参考指数を設けていないため、本項目は記載していません。

分配金

当期の収益分配金は、配当等収益の水準や市況動向等を勘案した結果、分配を見送らせていただきました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2018年8月21日 ～2019年2月19日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	617円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

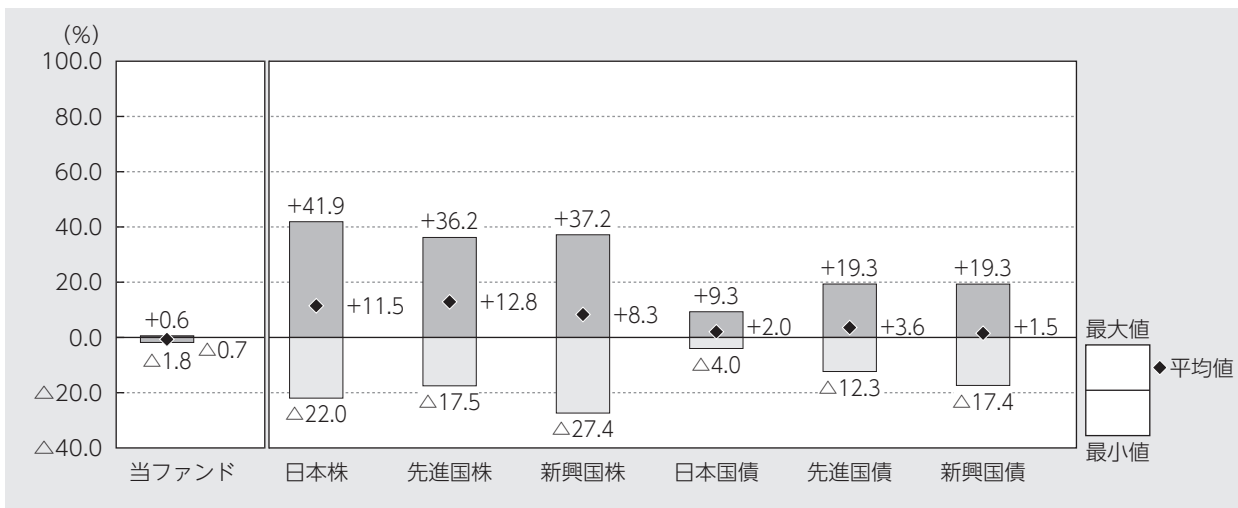
今後の運用方針

財政政策の効果が徐々に薄れる中、景気は減速に向かうものの緩やかな成長が見込まれるほか、地方債発行体の信用力が改善傾向にあることや投資家の需要などが地方債市場の下支え要因になると考えられます。このような見通しの下、引き続き発行体の信用力に留意しつつ、ポートフォリオを運用して参ります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2016年7月29日から2021年8月19日までです。 なお、クローズド期間はありません。
運用方針	米国の地方債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指します。
主要投資対象	米国の地方債を主要投資対象とします。
運用方法	取得時においてB B B格相当以上の格付けを得ている債券（投資適格債券）に投資します。 債券への投資にあたっては、主としてファンドの信託期間中に満期償還される銘柄または繰上償還が見込まれる銘柄に投資します。 ただし、信託財産の純資産総額の30%を上限として、ファンドの信託期間終了から2年以内に満期償還される銘柄または繰上償還が見込まれる銘柄に投資を行うことができます。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。 運用指図に関する権限の一部（有価証券等の運用の指図に関する権限）を、ウェルズ・キャピタル・マネジメント・インコーポレイテッドに委託します。
分配方針	每期、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とし、分配金額は委託会社が配当等収益の水準や市況動向等を勘案して決定します。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2014年2月～2019年1月

(注1) 上記のグラフは2014年2月から2019年1月の5年間における1年騰落率（毎月末時点における期間1年間の騰落率を5年（60ヵ月）分取得したデータ）の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。（グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。）なお、上記騰落率は直近の月末から60ヵ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。また、当ファンドについては、ファンドの設定日（2016年7月29日）から2019年1月までの1年騰落率（2017年7月は対当初元本（10,000円）の騰落率）の平均・最大・最小を表示しています。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額をもとに計算していますので、基準価額をもとに計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2019年2月19日現在）

◆組入上位銘柄

（組入銘柄数：46銘柄）

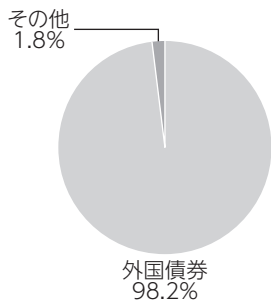
順位	銘柄	通貨	利率	償還日	比率
1	ケアアライアンス・ヘルス・サービスズ	米ドル	2.8470%	2021/08/15	4.5%
2	ニュージャージー州経済開発公社	米ドル	—	2021/02/15	4.4%
3	セント・エリザベス・メディカル・センター	米ドル	2.2500	2021/04/01	4.1%
4	イースト・ピオリア市	米ドル	2.2500	2021/01/01	3.8%
5	ジャクソン研究所	米ドル	2.9780	2021/07/01	3.8%
6	ダッチェス郡地域開発会社	米ドル	3.0500	2021/07/01	3.8%
7	デシューツ郡病院	米ドル	2.3330	2021/01/01	3.3%
8	コネチカット州住宅金融公社	米ドル	2.9000	2021/05/15	3.2%
9	ファイエットビル州立大学	米ドル	4.2500	2021/04/01	2.8%
10	アパッチ郡ウィンドー・ロック・ユニファイ・スクール・ディストリクト	米ドル	6.0580	2021/07/01	2.7%

（注1）償還日は、繰上償還が見込まれる銘柄については、想定償還日を記載しています。

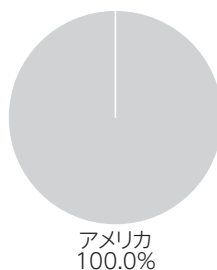
（注2）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注3）詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

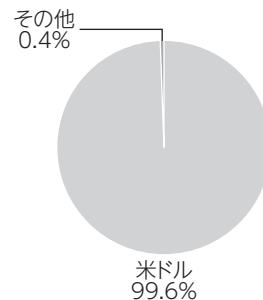
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



◆為替ヘッジ比率

比率	99.7%
----	-------

（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分についてはポートフォリオの合計（除く現金）に対する割合です。

（注2）その他は100%と配分比率の合計との差になります。

（注3）為替ヘッジ比率は、組入外貨建資産に対する割合です。

純資産等

項目	当期末
	2019年2月19日
純資産総額	2,334,332,004円
受益権総口数	2,390,094,307口
1万口当たり基準価額	9,767円

（注）当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は369,425,767円です。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス(除く日本)」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

